

レバノン出身学生 技術研修

中東レバノン出身で、東京芸大大学院で学びサレム・カリーラ・レネさん(28)＝東京＝が、塩尻市木曾平沢の漆器店で漆器の仕上げを学んでいる。専門課程の卒業制作で、日本語とアラビア語の文字を使ったデザインを和紙に漆で印刷する作品に取り組んでおり、今回は木曾漆器の職人から本格的な技法を体得しようとして初めて訪れた。11、12日は市民交流センター「えんぱーく」で漆を使った子ども向けワークショップの講師も務める。

★……………★
 カリーラさんは母国の大学を卒業後に来日し、長岡造形大(新潟県長岡市)の修士課程を修了。東京芸大の授業で漆芸の技法を体験してから漆に興味を持ち、卒業制作は「小国和紙」で知られる長岡で学んだ紙すきの技法に、漆の「スクリーンプリント」と呼ばれる印刷の技法を組み合わせて

芸漆伝統なくも人



木曾平沢の職人から金継ぎの技法を教わるカーラさん(左)

り受けたりした漆の粉を漆で塗り重ねる「金継ぎ」の技法を学んでいる。2016年、日本の職人の手伝いで心を通わすことで、漆器の職人として活躍している。木曾漆器の職人の指導の下、漆器の職人の手伝いで心を通わすことで、漆器の職人として活躍している。木曾漆器の職人の指導の下、漆器の職人の手伝いで心を通わすことで、漆器の職人として活躍している。

「アラビア語の文字を漆で印刷する作品」をテーマにしたワークショップを開催する。ワークショップは、漆器の職人の指導の下、漆器の職人の手伝いで心を通わすことで、漆器の職人として活躍している。ワークショップは、漆器の職人の指導の下、漆器の職人の手伝いで心を通わすことで、漆器の職人として活躍している。

塩尻 子どもも向け講座講師も

022663・53・3335